

■二輪車販売の実務と情報

# ヤマハニュース

YAMAHA NEWS NO.116 1973 **2** FEB.



◆新春第二弾!!

市場をリードするニューモデル群発表

# 2月のヤマハ

早いもので四日の立春をすぎれば暦のうえではもう春。

スノースポーツはいまがまさか。そして、二年目を迎えたトレール杯争奪モトクロス選手権シリーズも、南の地方からはやくもスタート。

好評開催中の「第二回ヤマハ運転免許教室コンクール」は、三月末まで。お店での進展ぶりはいかがですか――

「ニッパチ月の商売は……」なんてのは昔の話。春の需要期はもうすぐです……。

## FEBRUARY

1月1日→3月31日 第2回ヤマハ運転免許教室コンクール開催中

1 木  
2 金  
3 土  
4 日  
5 月  
6 火  
7 水  
8 木  
9 金  
10 土  
11 日  
12 月  
13 火  
14 水  
15 木  
16 金  
17 土  
18 日  
19 月  
20 火  
21 水  
22 木  
23 金  
24 土  
25 日  
26 月  
27 火  
28 水  
3月  
4  
11  
3月

▶行事	▶場所	▶主催	▶連絡先
全日本選手権第2戦石打スノースクランブル	石打後楽園スキー場	MFJ	03(561)8566
黒姫スノーモビル教室	黒姫スキー場	東京トレールメイツ	03(572)2021
西日本選手権第2戦山ロモトクロス	大竹モトクロス場	MFJ西日本スポーツ委員会	0827(21)1654
スノーモビルフェスティバル	ひるがの高原	中部SL会	052(913)2121

全道選手権第3戦帯広スノースクランブル	帯広	MFJ帯広支部	01552(3)8151
東北選手権第2戦スノースクランブル	未定	MFJ東北スポーツ委員会	02472(2)2814
中部選手権第2戦数河スノースクランブル	数河高原スノーサーキット	MFJ中部スポーツ委員会	052(913)2121
中部トライアルシリーズ第2戦	笹戸トライアルコース	名古屋トライアルクラブ	052(832)8185

トライアルアクション&オークション	ヤマハ発動機名古屋支店	中部SL会	052(913)2121
-------------------	-------------	-------	--------------

全日本選手権第3戦札幌スノースクランブル	テイネオリンピア	MFJ札幌支部	011(641)2711
----------------------	----------	---------	--------------

関西選手権第2戦箱館山スノースクランブル	箱館山	関西阪奈会	06(568)0381
TCMS九州第1戦南九州大会	トレールランド牧ノ原	ヤマハ南九州	0992(68)5101
関東トライアルスクール	座間市相模川	MFJトライアル委員会	03(561)8566
上越国際スノーモビル教室	上越国際スキー場	東京トレールメイツ	03(572)2021

全日本選手権第4戦六呂師スノースクランブル	六呂師スノーサーキット	MFJ中部スポーツ委員会	052(913)2121
-----------------------	-------------	--------------	--------------

TCMS中国第1戦	トレールランド岡山	ヤマハ岡山	0862(41)1803
-----------	-----------	-------	--------------

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土 日 月 火 水 木 金 土

# 価値ある商品で 安定成長

'73 ヤマハフレンド店  
新年総会ひらく

今年もヤマハで大きく伸びよう！  
新しい年を迎えて、ますます意気あがるヤマハフレンド店のみなさま参集のもとに、今年も全国各地でいせいのよい新年総会が開かれました。これは『ヤマハ新春大躍進会』と銘打ち、全国のトップをきって行なわれた中部地区のヤマハフレンド店新年総会——  
本年もどうぞよろしくお願いいたします。



江口常務より表彰を受ける、中部地区優秀フレンド店のみなさん

# 新年総会



◀発売が待たれる魅力のモデルもベールを脱いで……。

▼すでに発売、大きな伸びが期待される商品



全国のトップを切ってひらかれた中部地区の新年総会「ヤマハ新春大躍進大会」は、一月十一日、ホテル名古屋キャッスル・青雲の間に、中部七県の優秀フレンド店さん二六二店が参集して行なわれました。

会はず、'72年度優秀フレンド店さんの表彰には始まり、ヤマハ発動機・江口秀人常務取締役の年頭のあいさつ、森谷名古屋支店長あいさつ、スライドによる二輪車業界の動向、'73ヤマハの営業政策の説明とつづきます。

そして'73ヤマハの基本方針である「価値ある商品で安定成長」の柱となる発売予定の新商品のかずかずがフレンド店さんの拍手の中でベールを脱ぎました。

次いで会場を移し、懇親パーティーが催されましたが、日頃激しい商戦にたずさわるフレンド店のみならず、この日ばかりは和気あいあい、芸能人のにぎやかなステージもあって、なごやかに過し、躍進'73の商売へと新しい意欲を燃やしたものでした。

'73 ヤマハフレンド



“価値ある商品”がズラリ登場。

▶「やるぞ、ことしも！」と鏡開きも威勢よく。





▼なごやかなうちにも、意欲みなぎる懇親パーティー。

服部・第一自動車社長の音頭で'73年の躍進を誓いあう。▲





# フレンド店のみなさまへ

(中部地区新年総会・江口秀人常務取締役あいさつ大要)

昨年は日本の経済全体が不安定なものでしたが、中でも二輪車業界は、免許試験制度の改正などもあり、全体にこれからの方向性を見きわめようとした一年でした。

業界全体としても、国内需要がおち込みを見せています。が、しかし、このようなかでヤマハはフレンド店のみなさまのご協力によ

りおかげさまで、堅実な伸びを示すことができました。

そして、ことし'73年は内外の情勢から考えて特に国内需要が近年にない活況を呈する年になるものと思われまます。

ということは、今年のご商売は昨年にも増してますます激しさを加えていくということと、商圏の拡大、ユーザーの系列化などが今まで以上に強く望まれるところです。

こうした状況をふまえ、つねに新しい需要を創造するヤマハは、かずかずの魅力ある商品群で、ことしもまた一大躍進を期してまいります。

そして、国内需要動向の変化に即し、商品の多様化をはかるため、昨年来の努力の成果をより多くみなさまにお届けできる準備もとのつています。

具体的には、軽排気量車ではレンジャーバイクの開発。大排気量車では、2サイクル、4サイクルが、はっきりとした存在価値を示すようなスポーツシリーズの確立。また、昨年のショーで大きな話題となったロータリーエンジン搭載車も、新しい二輪車時代をリードするものとして発売したいと考えています。

また、若者の絶大な人気を集めているモトクロスや、新しいスポーツとして注目されているトライアルについては、単に商品ばかりでなく、ご商売の環境づくりとして、より積極的な普及活動を展開してまいります。

すでにトライアルについては、世界の第一人者M・アンドリュースとの契約も整いましたし、昨年の大反響を呼んだYGSFもヤマハ企業活動の頂点として開催します。さらに需要喚起をはかるためのテクニカルセンター、これは自動車運転免許試験場と同等の規模、設備をもつ教育施設ですが、この第一がもつか磐田のヤマハ本社前にツチ音高く建設されており、今後は全国各地につぎつぎに設置される予定です。

また新しい試みとして、今日の商品動向に即し、みなさまとヤマハが、ともに発展できるものということを前提に、輸入商品の国内販売も考えています。すでにフランス・プジョー社との間に自転車の輸入販売に関する契約もまとまり、みなさまにお届けできる日も近いことでしょう。

——こうした環境の中で、特にフレンド店のみなさまにお願い申し上げたいことは、お店の大型化、もちろん単に間口を広げることだけではなく、若いお客さまと強いキズナを持ったお店として、積極的なご商売をしていただきたいこと。

さらに、インフレ化の進行する中で、流通コストの真剣な合理化をはかり、これまで以上に長期的な展望に立った計画販売を行なっていたいただきたいと思えます。

そして、ことし'73年もまた、ヤマハとともに大きく前進してまいりましょう。

# 躍進'73 ヤマハ

＝報道関係者を招いて魅力の新型車群を発表＝



多数の報道関係者を前に新年のあいさつを述べる小池専務

躍進'73 ヤマハは、魅力の商品展開で大きな  
第一歩をふみだしました。

新春の市場をにぎわすその第一弾は、画期的なイメージドライブが決め手の「オートマチックメイト」であり、さらにつづいて中堅ロードスターの雄「ヤマハスポーツ RD350 / RD250」が登場、モトクロス界の覇者「トレールスペシャル MX250」も一新された仕様でデビュー、シーズン開幕を前に強力な新商品の布陣が業界筋でも大きな話題となっています。

そして、一月十二日には東京・ホテルニューオータニに多数の報道関係者を招いて「ヤマハ新型車発表会」を開催、これら一連のニューモデルが紹介されました。

この催しで、新春のあいさつに立ったヤマハ発動機株式会社・小池久雄専務取締役は、主力商品オートバイをはじめ、モーターボート、セーリングボート、和・漁船、船外機、スノーモビル、汎用エンジン、スポーツランド開発、さらにはレース、SL、免許、安全普及活動など、ヤマハの現況を仔細に解説、着実な足どりで発展する姿を卒直に述べて出席者の大きな拍手を浴びました。

同時に、これからの方向として、特色あるヤマハ企業グループの力を結集、すぐれた市場環境づくりを図って大いなる発展をめざすと雄大な方針が披露されました。

つづいて小宮営業部長から新車紹介および国内市場のシェア拡大の政策方針が発表され懇親会へと席をうつしました。



# '73 ヤマハ・ニューモデル群

専門誌記者の間でも評判!!

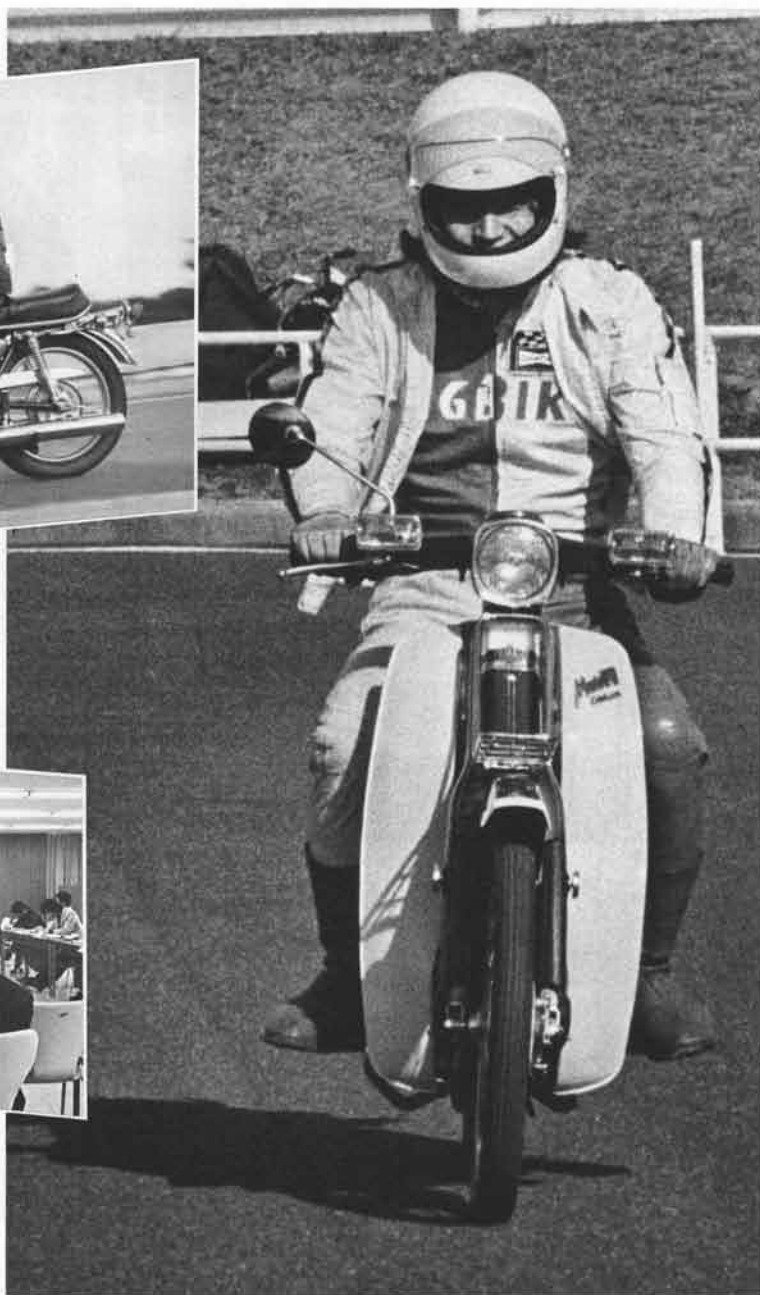


▲模範的なライディングフォームでクルージング。

▼熱ばいムードあふれた本社会議室での技術説明会。



▶アクセルひとつでローからハイへ。オートマチックメイトにフルフェイス、レーシングスーツで乗る専門誌ライダー氏。



東京における「ヤマハ新車発表会」について、翌十三日にはヤマハ発動機株式会社社会議室に関係専門誌八社二十余名のジャーナリストを招いて「新車技術説明会」がひらかれました。

本社側からは田中第二技術部長をはじめ早川技術企画課長、菅田営業技術課長らが出席し、オートマチック機構やトルクインダクション、6速ミッション、CDI点火方式など開発経過をおりませながら各車ごとに詳細な技術説明がもたれました。

つづいて記者団との間に活発な質疑応答がくりひろげられましたが、その熱心なやりとりにより記者団の新車に対するなみなみならぬ関心度の深さがうかがわれました。

このあと、会場を袋井コースに移して「新車試乗会」がひらかれましたが、こちらのほうも盛況そのもの。寒風の中をロングクルージングに、加速に、制動に、最高速に、転回に、用意された六台の試乗車は次々と乗りかえるテストライダーに、全長五・二四キロのコースを何十回となくラップし、あらゆる角度からの性能診断をうけ、またさまざまな角度からカメラに納められていました。

このように、'73ヤマハ・ニューモデル群は早くも人気のフットライトを浴びており、間もなく幕開けとなるオートバイ・シーズンに満を持しています。

どうぞ、みなさまよろしくお願ひします。



▲オートマチックメイトを囲んで呉越同舟の鳩首会議？



▲上からながめ……。



▲下からのぞき……。



▲かたむけて……。



▲右に左に、走りに、カメラに、大わらわの取材陣。

お店の繁栄を促進する

# “ヤマハ奥さまサークル”発足

●ご主人さまからも、入会をおすすめください。

お店のご主人さまのもっとも信頼できる片腕として働いている奥さま。この企画はそうした奥さまのために生れたものです。

## 〔奥さまも正しい販売戦術を〕

これまで、奥さま方はお店のパートナーとして、すばらしい手腕を発揮してこられました。しかし、本当にお店の戦力となっていくためには、正しい経営知識や販売戦術を身につけていただかなければなりません。“ヤマハ奥さまサークル”は、真にお店の増販を助ける、やさしい講習会を中心としたサークル活動です。

## 〔最初は接客法から〕

各地で大勢の奥さま方が入会され、すでに会合もひらかれています。やさしいテキストも完成、最初は営業上もっとも大切な「売りやすい接客法」を取り上げています。この他、未開拓な奥さまのアイデアをいかす店舗レイアウトや帳簿の整理法など、じょじょに勉強していただきます。また、業界の情報交換を目的とする、いろいろな催しものの企画も計画しています。

## 〔力強い二人三脚を〕

奥さま方には、お店のお手伝いが、手ごたえのある楽しいものとなりましょう。

また、ご主人さまには、真に信頼できる協力者ができますから、心身ともに経営にゆとりができると存じます。「ヤマハ奥さまサークル」へのご入会により、力強い二人三脚で、お店の繁栄を勝ちとってください。

売り上げアップのために、奥さまの“ヤマハ奥さまサークル”へのご入会を、ご主人さまからも、おすすめください。

- ◆入会資格 オートバイ販売店の奥さまなら、どなたでも入会できます。
- ◆入会時期 いつでも自由に入会できます。(セールスマンの勧誘にしがって入会していただきます)
- ◆入会申込先 担当セールスマンにお申し込みください。
- ◆サークルの管理・運営については、ヤマハ特約店、販売会社、営業所がお世話いたします。

### お店にもたくさんの特典があります

★コンクール参加のお店には、すべて「試視力、色弱検査表」を贈呈します。  
★期間中の成果によって「運転免許教室指定店」を指定、外装用ペナントを贈呈します。  
すでに、指定店のお店には、店内用「免許相談コーナー」ペナントを差し上げます。

②地区の最優秀店には、便利な「安全運転指導ボード」を贈呈。  
★さらに、指定店のご主人には、「二輪車安全運転指導員」におなりいただくため、ヤマハが積極的にご協力します。

お客さまにもすばらしい特典！  
★コンクール期間中に、「ヤマハ運転



★「運転免許教室指定店」になっていただくためには――  
①コンクール期間中に、三回以上免許教室を開催。  
②受講者が、のべ20人以上。  
③合格者が12人以上。

★右の基準に達したお店には、さらに――

①基準に達したお店には、「ヤマハ発動機支店長表彰」を行いません。

免許教室」を受講されたお客さまは、三カ月間に限り「ヤマハS Lクラブ」の準会員になれます。  
したがって、S Lニュースの配布、S L行事への優先参加などの特典があります。

さらに、この期間中に、運転免許を取得されたお客さまには、もれなく「合格記念品」をさし上げます。  
〔参加について詳しくは、担当のセールスマンにおたずねください。〕



◆新しいお客さまを育てる  
第2回 ヤマハ運転免許教室コンクール

お店にとっても、参加するお客さまにとっても、数々のすばらしい特典を用意して、いま全国各地で「ヤマハ運転免許教室コンクール」が実施されています。どうぞ、ふるってご参加ください。

実施中!!

# RD350/RD250

新発売



## 7つの大きなセールスポイント

1 トルクインダクションの採用

低・中速回転域でのパワーアップをひきだし、燃料経済性を高めた。また圧縮比を下げ、エンジンに無理なくパワーアップを果しているが、これはエンジンの耐久性を大きく向上させている(別表参照)。

2 6速ミッションの装備

高性能化されたエンジンをより能率的に使用できるようなミッションギヤを6速の多段にした。この6速ミッションは使用頻度の高い2、3、4、5速をクロスレイシヨ化しており、パワーアップと相まって機敏なアクセルレスポンスをひきだす。

3 アルミシリンダー  
キーストン型のピストンリング

冷却のよいアルミシリンダー、リング固着の防止が図られたキーストン型ピストンリング、これらはいずれも苛酷な条件でも安定したエンジン性能を保持する。

4 フルダブルの  
高張力鋼管フレーム

フレームはレーサーゆずりのフルダブルクレードル型(ダウンチューブのほかにタンクレールもダブルになっている)。しかも抜群のつ

# トルクインダクションと 6速ミッションの採用

## ヤマハスポーツ

### RD350 (左)とRD250

両車の装備上の大きな相違点は燃料タンク容量と後輪タイヤ寸法で、12 $\ell$ →16 $\ell$ 、3.25-18→3.50-18とそれぞれRD350のほうが大型化している。(諸元のカッコ内はRD350)

全長	2040mm
全巾	835mm
全高	1110mm
軸間距離	1320mm
最低地上高	150(155)mm
車両重量	154(160)kg
最高速度	160(170)km/h
舗装平坦路燃費	40/50(35/60)
登坂能力	24°(28°)
制動停止距離	14m(50km/h)
エンジン	2サイクル2気筒
総排気量	247(347)cc
内径×行程	54×54(64×54)mm
圧縮比	6.7(5.6)
最高出力	30/7500(39/7500)
最大トルク	2.92/7000(3.8/7000)
始動方式	キック
点火方式	バッテリー
燃料タンク容量	12(16)\ell
オイルタンク容量	2 $\ell$
潤滑方式	オートループ
一次減速比	(68/21)3.238
二次減速比	(40/15)2.666
クラッチ型式	履式多板
変速機型式	常時噛合式6段
変速比1速	(36/14)2.571
変速比2速	(32/18)1.777
変速比3速	(29/22)1.318
変速比4速	(26/25)1.040
変速比5速	(24/27)0.888
変速比6速	(22/28)0.785
キャスト	62.5°
トレール	106mm
タイヤ寸法(前)	3.00-18" 4PR
タイヤ寸法(後)	3.25(3.50)-18" 4PR
懸架装置(前)	テレスコピックオレオ
懸架装置(後)	スイングアームオレオ
ブレーキ(前)	ガーリング型油圧ディスク
ブレーキ(後)	内部圧着式
フレーム材質	高張力鋼管
フレーム型式	ダブルクレードル

表題にもあるように、この新型RDシリーズの技術的な特徴のいちばんは、トルクインダクション（フポート+ピストンリードバルブ）と6速ミッションの採用で、これにより

ここに新型「RD350」、「RD250」のセールスポイントを列挙してみます。

またこれら性能アップにとまない、安全性を主体に各部装備の充実を図り、カラーリング・デザインも一新して、総合的なグレードアップを果しております。

従来モデルに増していつそうパワフルな、走りやすいものに仕上げてあります。



よさをもつ高張力鋼管製で、バンク角も最大47度（左右）と大きい。

**5** 油圧ディスクの前輪ブレーキ  
同じ油圧ディスク式ブレーキでも、ヤマハのそれはガーリングタイプへの対向ピストン式。すぐれたブレーキ性能はすでにPROシリーズで定評がある。

**6** ヘルメットハンガーの新設  
ロック式燃料タンクキャップ  
1キー、4ロック方式

ヘルメットハンガーの装着により、シートの開閉はロック式となり、メインスイッチ、タンクキャップ、ステアリングのロックとワンキー、フォーロック式とした。もちろんキーは扱いに便利な両面式である。

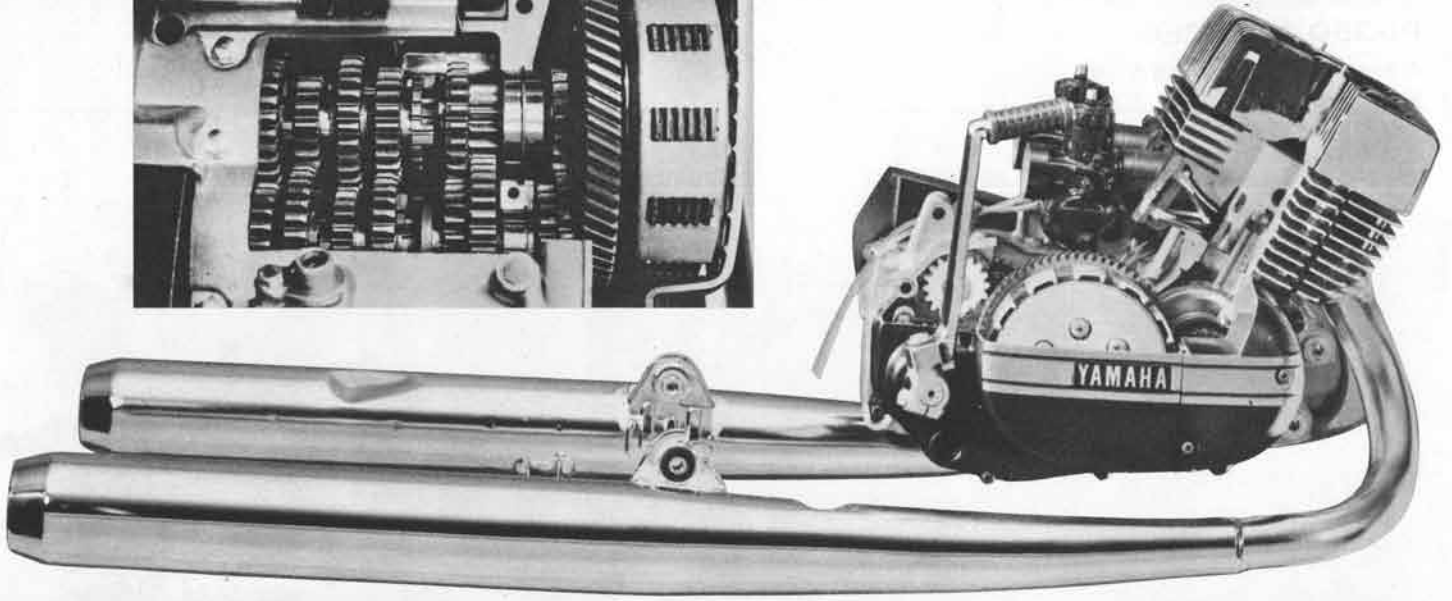
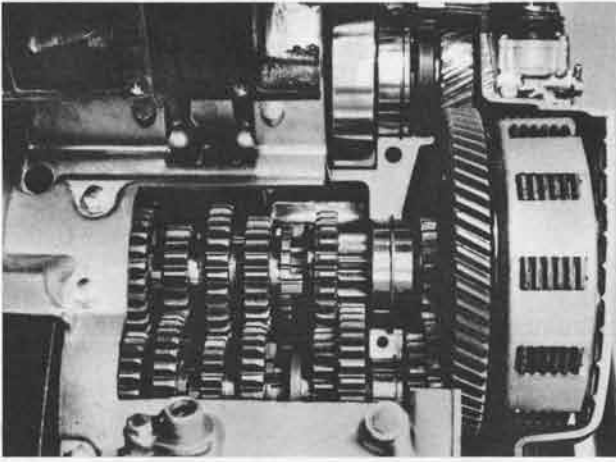
**7** 灯火・警音装置の充実化  
安全性の向上

テールライトおよびレフレクターを大型化した。フラッシュャーを大型化、同時に27W球を採用した。ブレーキランプ断線警告パイロット、ハイビーム表示パイロットを新設した。メーター類および各パイロットを大型ワンパネルにまとめ見やすいものとした。パッシングライトを新設し、追越し合図の伝達で安全性を高めた。

主要諸元の比較

項目	DX250	RD250	RX350	RD350
圧縮比	7.1	6.7	6.9	6.6
最高出力	30/7500	30/7500	36/7000	39/7500
最大トルク	2.92/7000	2.92/7000	3.87/6500	3.8/7000
最高速度	160	160	170	170

カブよさをさらに増したトルクインダクション方式の新エンジンと6段ミッション。



安全性を高めた大型灯火類



フルダブルのクレードル型フレーム



219mm径の大型ディスクブレーキ



ロック式のキャップと両面式キー



確認しやすい大型メーターパネル

## ■新設計のエンジン

従来のすぐれた高速性能をさらに能率的に生かすため、低・中速時のトルクアップおよび耐久性、整備性の向上を図った

### ●6枚リードバルブ

ヤマハ独自のトルクインダクション（7ポート+ピストンリードバルブ）方式は、さらに新しい技術成果がとり入れられ、6枚リードバルブとした。また同時にエヤクリーナーを改良、吸気効率の全面的な向上に成功した。この結果、低・中速時のトルクが一段とアップされた。

### ●シリンダー、ピストンまわりの改良

シリンダーヘッド、シリンダーの締付けを改良、熱ひずみによる影響をなくした。次いでピストンの軽量、強化対策を施した。

### ●CDI点火、自動進角装置の採用

CDIとはキャパシティ・ディスチャージ・イグニッションの略。トランジスタを使った新しい点火方式で、始動性良好、高速火花性能良好、点火プラグ汚損につよいなどの特長をもつほか、ポイトがなく、メンテナンスフリーという大きなメリットをもっている。さらに自動進角装置の採用により、低速時の火花性能が向上した。点火系統の保守・点検は従来のものより格段に整備しやすい。

### ●センターエキパイ方式

エキゾーストパイプをセンター方式とし、車体巾の縮小に成功した。またテールにはスパークアレスター兼用のサイレンサーを装備。

## ■フレーム、足まわりの改良

エンジン性能のアップと共に、車体関係、足まわりの強化につとめ、より乗りやすく、走りやすいものとしている

### ●フレームの強化

センターエキパイ方式の採用により、ダウンチューブおよびタンクレールの結合部分を改良、強度の向上を図った。

### ●フロントフォークの性能向上

不等ピッチのコイルスプリングを採用、バネ

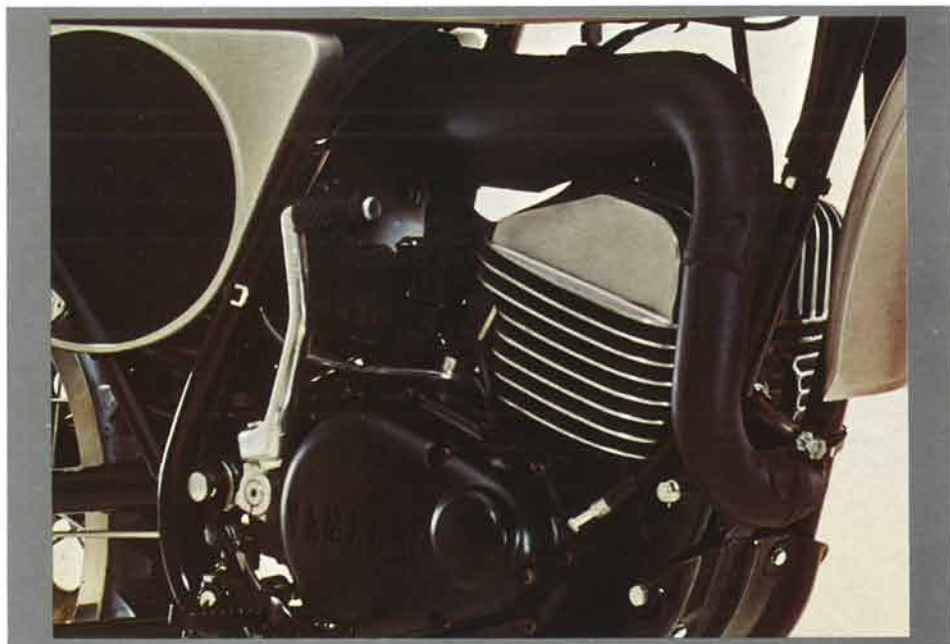
定数の理想化を図った。

### ●リヤクッションの性能向上

ストロークの大型化とサーマルフローショックの採用。サーマルフローショックとは長時間走行によって発生するオイル温度の上昇で変化する減衰特性の変化を防止するためのもので、これにより、前後クッションのバランスは一段と向上し、走行性を高めた。

### ●キッククラanksの改良

キッククラanksの形状と取付角度を改良、ライダーの足首部との接触をなくした。



YAMAHA MX250



YAMAHA YB125E



YAMAHA YB90(90E)



YAMAHA YB50(60)



外装を一新!!

ヤマハビジネスシリーズ



# New Model color hi-lite



**YAMAHA RD350**

- ◀コンペティション グリーン
- ◀バハブラウン



**YAMAHA RD250**

- ◀ブリゲートブルー
- ◀ゴールドダスト



新発売

'73 NEW MX250 登場!!



日本のモトクロス界を大きく育て、多数の有名ライダーを生んで人気絶頂の“MX250”が、一段とりキを増して登場しました。

シーズン開幕を前に、加速度的に人気を高めてきている“トレール杯争奪モトクロス”をはじめ、MFJ、MCFAJ、地方・クラブ組織等々のモトクロス出場者、ファンにとってこの“ニューMX250”の発売はまさにビッグニュースです。

ここに拡販の決め手となるセールスポイントをお届けします。

新発売

# ヤマハ YB125E



薄暮時に重宝なマーカーランプほか数々の改良が加えられたヤマハYB125。

- ★9.5ℓ容量のニュー・デザイン燃料タンク
- ★デラックス化したシート
- ★メッキ仕上げの大型キャリア
- ★操作のしやすいメインスイッチ
- ★マーカーランプ、サイドレフレクターの新設
- ★大型テールレンズ採用
- ★パネル集中式で見やすいメーター、各種パイロット

いうまでもなく、この「YB125E」はビジネスモデルのピカ一といわれたA7にかわるもので、タフなエンジン、頑丈なフレームなど、すぐれた基本設計をうけつぎ、さらに次のような改良を加えて登場したものです。



メーターまわりとキースイッチ部。



形状を変え、モールがついたシート。



見るからに頑丈な大型キャリア。

新発売

# ヤマハ YB90(90E)



フラッシャー (L、R)、ハイビーム (B)、ニュートラル (N) の各パイロットを備えたメーターまわりと、ステアリングヘッド上部に設けたメインスイッチ。ハンドルはブリッジ付。



シート右下にあるヘルメットホルダーはエンジンキーで開閉される。



デラックス仕仕上げのシートと大型キャリアはビジネスモデルの特徴。



スポーティなフロントフェンダー支持ステー。

手軽さがかわれて、巾広く使われてきたH B 90のシェアをさらに拡大するために生れたのが「Y B 90」、そしてセル付の「Y B 90 E」で、次のようなセールスポイントをもちます。

- ★定評あるエンジンはキーストンタイプのピストンリングを採用してさらに耐久性増大
- ★扱いやすい4段ミツシヨンはペダル前側にラバーカバーを装着
- ★便利なワンタッチキック
- ★ニューデザインの大型燃料タンク
- ★シートのデラックス化と大型キャリアの採用
- ★見やすいメーターとパイロットランプの新設
- ★ヘルメットハンガーの装着
- ★安全度をさらに高めた灯火類

新発売

# ヤマハ YB50(60)



ニューデザインのメーター



乗りやすいアップハンドル



新設のキーロック式ヘルメットホルダー



もつとも軽量なビジネスモデルとして根づよい人気をもつ50ccクラスのニューモデルがこの「YB50」で、この姉妹車として「YB60」も同時にデビューしました。

両機種 of セールスポイントとしては、次のような項目が強調できます。

- ★コンパクトでパワフルなエンジン
- ★耐久性あるピストンリング（キーストントタイプ）の採用
- ★ワンタッチキックの採用
- ★容量を増したニューデザインの燃料タンク
- ★デラックス化したシートと大型キャリヤの採用
- ★見やすいメーターと各パイロットランプの新設
- ★安全度の高い電装品の採用
- ★ヘルメットハンガーの新設

店員さんは丸山福造君(20才)一人。目下ヤル気ある若者を募集中です。

こんにちは  
**ヤマハ**  
です

# 経営近代化に 邁進

●長野県大町市大字四六四九一五  
大八佐藤商会(有) 佐藤利八郎社長

「たいへんお若くお見受けしますが」

「二十代に見えつかね」

「ハア……………」

「これが当年とって三十一才。新婚一カ月でしてネ」

うら若い新妻は、事務机に向って帳簿の整理中。店内はストーブの上でシユンシユンとお湯がわき、その他は物音一つしない。

横手に筑摩山地、ゆく手に北アルプスの山々が迫る大町市は、松本からクルマで四〇分。雪に埋れる冬の間は「ハテ、何もすつことねエ」……といった、のんびりした町なのです。





「広さと品数で勝負」の言葉通り、広く美しい大八佐藤商会。

## 辣腕の若社長

透明な大気に照り映えて、ガラスの壁面が冬の陽にキラキラ輝いている大八佐藤商会(株)。大町市の西方、小学校の大きなグラウンド前に、ヤマハのかんばんもあざやかに、パツと目につる社屋は、去年新築したばかりです。

昭和四十一年創立。長い間自転車店に勤務した経験をいかして、自転車、オートバイ店として創業しました。以来、自力でトントンの拍子の大発展。現在は、自転車、オートバイに加えて、四輪販売、ゴルフセンター、不動産業と、多角経営にのり出しています。

商運も相当強そうに見受けられましたが、このあざやかな進展ぶりは、何といても佐藤社長の若さあふれるエネルギーと、みがき抜かれた商勘のたまもの、とお見受けしました。

「ご商売上手のコツは？」と伺ったら、「別にうまいとは思わねエが、お客の欲しているものを与えてやるちゆうことじやないかね。お客が何を欲しがっているか、サツと見抜かにや商売はいかんのじやないかね」とおっしゃいました。

## 雪の季節は 気長なコタツ商法で

大町市は人口三万二千。このささやかな商圈に、二十余軒のオートバイ店がひしめいています。周辺は農家が多く、行動半径も限ら



新婚ホヤホヤ。儲かることなら何んでもしたいという若い経営者、佐藤社長と奥さま。

れているので、お客さんの大半は農家の主婦や娘さん。出るものはメイトクラスがほとんどです。

このあたり土地柄なのか、お客さんはめつたに動かないそうです。ひよんなきっかけて一度取引ができると、親子代々その店にやってくるのです。

ですから営業活動はけっこう厳しい。じっくり構えて、お茶を飲み飲み、一家の主人と実懇の間柄にならないければ、お客は掴めません。その代わり、一家の主人を掴んでしまえば、奥さんが、息子さんが、娘さんがお店の顧客リストに加わることになるのです。

冬、農閑期に入る雪の季節は、膝をあわせて、一家の主人と親交を深める絶好のチャンスです。静かな雪の下を縫って、気長な営業活動が、今日もつづげられているのです。

### 店舗の広さと 品数豊富で勝負

一家の主人を掴まれば、といっても、義理と人情にあつい主人は、めつたなことでは取引き店を変えようとはしません。そこで、将を射んとせば駒を射よの格言に学んで、まが息子さんや娘さんなど、ヤングを惹きつける店づくりに入れました。子供たちがどうしてもアノ品物が欲しいとねだれば、親たるもの、先祖代々の取引店に多少の不義理をしても、心を動かさそうというものです。

息子に手をひかれて一家の主人が店に出向いてきたら、今度はガツチリご主人を惹きつ

けてしまう。そうすればいつか、この一家は揃って大八佐藤商会さんの動かぬ顧客になってしまうのです。

そのために、広く明るい店舗づくりを力を入れました。気まぐれなヤングたちは、行きつけの店があらうとなかろうと、カツコよく品数の多いお店にやってきます。

あそこへいけば色いろな品物が見れるし、選べる。そういう評判がヤングの足を惹きつけます。品物をみれば親父さんも、なるほどと肯づいてしまうでしょう。

### 独身者に 照準をあてて

それから、独身者を狙え」というのも、佐藤社長のモットーです。

お客さんの大半は農家の主婦ですが、最近ではスポーツレジャー用の大型車を欲しがらるヤングが、めきめき頭をもたげてきました。自分で働いて得た金は自分で使う。こうした世相を反映して、独身者がいちばん、自分で自由になるお金を持っています。その自由な金で彼らはカッコいいオートバイを買ってくれるのです。

新機種が出ると、半年も乗らないのに、ポイントと気前よく買いかえる人もあるそうですが、こういう人は独身者ならでは。

とくにローンを利用するヤングは、盆暮のボーナス時に、頭金だけを入れてさっそうと新車に乗りかえていくそうです。

独身者を狙え」とこのモットーが、店舗づ





▼ここにすれば車種が沢山みられる...という評判の店舗づくりで感心しました。

▼アクセサリ類もきれいに陳列。



小学校の校庭に面したしずかなお店



二階にある免許教室。30名は十分収容できる広さだが、受講者があふれて人気上々でした。免許教室、大成功です、と社長さんもタイコ判。

くり、一家のご主人ぐるみの顧客をつくるための営業作戦に、つらぬかれているようです。

## 値引きなしの 近代経営へ

農家の決済日は、盆暮に集中しています。冬ごもりの季節は、商店がひっそりしているのに反して、決済のお金がドツと飛び交うのです。オートバイ店の決済ももちろんこの時期。クルマを納車しても支払いの後廻しというこういう地域では、当然金利をいただかなければなりません。しかし商戦が激しい大町市では、金利はサービスというのが、あたり前になっていました。

これでは本当の商売とはいえない、とそう思った佐藤社長は、このところ金利もきちんと支払ってもらうことにしています。といっても、ごく近所のお客さんにはそこまで徹底できませんが、少しずつ経営の近代化をめざして頑張りたいとおっしゃいました。

オートバイ屋かられっきとした企業経営に脱皮すること—それが佐藤社長の願いです。さて、小さな町にひしめく競合店。商圏も目いっぱいとみた佐藤社長は、これから未開拓の近隣の町へ、支店を出そうと張切っています。現人口、見込み需要、将来性など、すでに調査済み。

オートバイ商売、まだまだこれから、と佐藤社長は若いエネルギーに燃えてヤル気十分この次お訪ねするときは、きっとまた新しい美しい支店が店開きしていることでしょう。

結論は

タイムレスツリーリング時代の花形!!

# ヤマハス・ホーツTX750

《米誌「サイクルワールド」のテスト記より》



ヤマハラインの最大型4サイクルTX750

0は、国際的なスーパーバイク時代になお一層の拍車をかける注目のモデルだというのが、専門家の一致した意見になってきていますが、大型バイク出力装置の伝統的なデザイン方式であるバーチカルツインの利点をそのまま生かすとともに、この方式の懸案になっていたバイブレーション防止にも成功していること

が興味の焦点になっているのです。

すでにヨーロッパ、アメリカを始めとする世界各国の著名専門誌紙は、TX750の全容紹介に多くのスペースをさいてきていますが、今回は、この種の記事では国際的に定評のある米誌「サイクルワールド」のヤマハTX750印象記の概要をお伝えします。

## 「驚異の振動防止装置」 オムニフェーズ balancer

ビッグバイクファン待望のニューモデルがヤマハから発表されたが、ファンに親しまれてきた伝統的なバーチカルツイン方式が採用され、全体的に細味にまとめられて、重排気量車に似ずいかにも軽快な印象を与える。

しかし、このデザイン方式には長所とともに、ある種のユーザーにとっては我慢のできない短所もあった。

つまり、クラシフィックシャフトのアレンジメントを360度にしようともし80度にしようともし、ランニングエンジンからの不愉快な振

動はどうしても防止できなかったのである。

したがって最近の重排気量出力装置は、3気筒、4気筒あるいは6気筒といったマルチ方式が主流になった感じがするが、固有のバイブレーションを別にすれば、機構的な簡潔さ、すっきりとしたデザイン、とり扱いやすさ、摺動部品がより少なくてすむことなどの長所を持つバーチカルツインに捨てがたい魅力を感じているビッグバイクファンもまだ数多いのである。

2ストロークマシン開発技術の最高峰を極めたヤマハは、XS650で4ストローク分野進出に成功したが、TX750でさらに一歩前進した印象をうける。

水平に分離するクラシフィックケース、4個のメ

インベアリングでサポートされるクラシフィックシャフト、クラシフィック中央から走るエンドレスチェーン、3リング式のピストンなどビッグツインのオーソドックスなデザイン方式が踏襲されているが、比較的浅い燃焼室の形状は独特で、燃焼効果を最大限に向上させている。

さらに自動式のPCVバルブとエンジンのエアクリナーが効果的に活用され、プロパイガスがスムーズに還元される。

しかし、何といってもこのモデル最大の特色は、ヤマハ新開発の振動防止装置「オムニフェーズ balancer」であろう。

ビッグバーチカルツイン固有の弱点を、いっきよに解決する画期的装置といっても過言



ではない。

現在市販されているビッグツインモデルの中で、振動防止のための積極的な努力がみられるのは英国のノートンコマンドぐらいのものであり、エンジン/トランスミッションの隔離式マウンティングにより、振動をフレームから切り離すことに一応成功しているが、ヤマハ新開発の装置はこれよりもさらに進んだ振動防止策である。

バランサーはクランクシャフトからのチェインによって駆動され、お互に逆方向に回転する大小二個のおもりから成っているが、大きい方はT型フライホイールに似た形を持っている。

クランクシャフトの振動が、それとは逆方向に回転する大のおもりで相殺され、さらにその際の振動は、小のおもりの回転によって相殺するという仕組みになっている。

この装置によってビッグツインの振動の問題は解決されたといつてよく、静かな回転は4気筒型マシンに乗っているのではないかと錯覚させるほどだ。

静かな回転音にマッチして、メガホン型のツインマフラーの排気音も快適で、気化器の吸入音のノイズレベルも低い。

5段式トランスミッションは、XS650のそれと同型で、ライダーにポジティブなギヤシフトを保証する。

クラッチのすべりはほとんど感じられず、しっかりとギヤペダルを踏みさえすればいつ

でもクリーンシフトすることができる。

1/4マイルの加速性能もこのクラスのバイクでは一級であるが、TX750は本来快適なロングツーリング向きに設計されたものであり、広巾で、操作しやすいハンドルバー、クッションのきいたシート、安定した乗車感を与えるフットレストなど、タイムレスツーリング時代のビッグバイクの必要条件を具備している。

コントロール装置の位置も理想的であることがテストライダーによって実証されたが、パツセンジャーのためのリヤシート位置も好評を博した。

TX750の制動装置は、高性能ビッグマシンには、それにマッチした強力ブレーキという定則のモデルパターンである。

前輪ダブルディスクブレーキの作動は常にスムーズで、安全・確実な停止が得られる。

また、レバーを調節することによって、ブレーキ作動開始のポイントを色々に変えることもできる。

8インチに近いリヤドラムブレーキは、1.85インチのライニング巾をもち、安全性を一層高めている。

普通このクラスのバイクを高速走行から停止に導くのはちょっとした技術を要するものだが、TX750については、それが驚くほど容易にできる。

フロントフォークのストロークもほどよくセツトされ、衝撃が効果的に吸収されるが、

ただ、高速コーナリングのためには幾分ソフト過ぎるという感じをうける。

リヤクッションユニットについても大体同じようなことが言えるのではないかとと思う。

全体的な仕上げは、デラックスツーリングモデルのイメージを強調、明るいクロームメッキ仕上げのフェンダー、鮮やかなカラーの塗装仕上げ、軽量・堅牢なアルミニウム合金製リムなど、外観をよくするとともに、総重量の減少に払ったヤマハ技術陣の努力のあとがうかがわれる。

照明用スイッチ類はすべてライダーがたやすく操作できる位置にまとめられ、各配線も入念に行われている。

ガソリンタンクのキャップが、イグニッションキーでロックされるのも、ヤマハの細かい配慮の一つであり、こういったことを喜ぶライダーが案外に多いものだ。

またオイルタンク周囲のカバーには窓がつけられていて、暑い日の高速ツーリング時のオイル冷却効果を高めている。

結論として、ヤマハTX750は、タイムレスツーリング時代の傑作モデルである。

エンジンデザインは、バーチカルツインとして全く新しいものであるが、なおかつツインモデル固有の長所をすべて保持していることは驚異だ。

長距離ツーリングのファンなら誰もが手にしてみたいと思うモデルである。

## ヤマハ、氷上でも活躍



フィンランドなどのスカンジナビア地方では、雪や氷にとざされる冬がとても長いという土地柄から、モトクロスにかわってアイス・レースがよく行なわれます。

このアイス・レースは日本では余りお目にかかることは出来ませんが、最高にスリップしやすい氷の上でのオートバイ・レースで、とてもスリリングなものです。

フィンランドのアーウィドソン・ヤマハといえば、ロード・レースの世界チャンピオンのサーリネンでおなじみですが、このメカニックがこのほどXS650をアイス・レースのサイドカー用に改造し、レースで大活躍しました。その他、RX改造車などのヤマハがアイス・レースでも圧倒的な強さを見せているということです。



# アフリカの国際モーターショー



アフリカの南西部に位置するアンゴラの首都ルアンダで昨年の秋、第四回国際モーターショーが15日間にわたって大々的に開催されました。

日本から遠く離れ、我々には余りなじみのないこの国でもオートバイはなかなかの人気があり、とくにヤマハの軽排気量は各地でひっぱりだこです。この国際モーターショーでも、現地の代理店オート・アベニダ社のアレンジになるヤマハコーナーは、とくに若者たちの人気を呼んでいました。

# インドネシアで伸びる X S 6 5 0



インドネシアは、いままでどちらかといえば小排気量車のマーケットとしてよく知られていましたが、最近はやマハX S 6 5 0を始めとするビッグ・マシンもよく見かけるようになり、とくにスポーツビッパを持って若者には大評判です。

写真で紹介の若者は、首都ジャカルタに近いバンドン市で初めてX S 6 5 0を買い、そのスタイルの良さと高性能ぶりを近所の人達に自慢しているところだ。



# レジャーに実用に、着実な伸びをみせる ヤマハスノーモビル

雪のシーズンもいまがたけなわ。ことしもまたスノーモビルが、はなやかな脚光を浴びて大活躍です。

日本の冬に登場して五年、いまスノーモビルは、新しいウィンターアクションスポーツの花形として若者の間で人気沸騰、そしてまたTV、新聞、雑誌などマスコミにも大きく取りあげられるなど、その人気も年ごとに急上昇中といったところです。

もちろん、スノーモビルといえば日本のパイオニア・ヤマハスノーモビルが第一人者。パワフル強制空冷2サイクルエンジン、スムーズな発進、加速のVベルト式自動遠心クラッチ、そして強力な駆動力と抜群の耐久性を誇るトラック、さらに信頼性の高いディスクブレーキなど……、豊富な経験から生まれたその高性能は、世界選手権二年連続制覇ですでに実証済みのものです。アクセルの操作ひとつで思いのままに走りまわれる操縦性、そして走行安定性、加えて軽くて丈夫なFRP製シユラウド、キルスイッチ、大型ヘッドランプ、ウィンカーランプなど安全性と、ヤマハスノーモビルは、ピカ

一の高性能マシンです。

スノーモビルの軽快性、スポーツ性をフルに活かして、スノースクランブル、スノーモビルツアー、スノーモビルジムカーナなど、新しいスノーレジャーも若者の人気のマツ。全国85カ所にも及ぶ「スノーモビルランド」は、にぎやかな歓声につつまれて、スノースクランブル、スノーモビル教室、スノーモビルフェスティバルなどユニークな催しが、ぞくぞく開催され、着実にスノーモビルの存在を高めています。

もちろん、ビジネス用としてもスノーモビルは大活躍。制約の多い雪の交通の中で、もっとも手軽な乗りものとして、連絡に、商用に、業務や作業にと幅広く使われています。

ビジネスに、スポーツレジャーに、73ヤマハスノーモビルは、次頁でご紹介のように計8機種のビッグラインアップ。

降雪地のお店はもとより、雪のない地方でもお客さまの冬のスポーツレジャーに、スノーモビルは欠かすことのできない魅力の商品として育っています。

# ヤマハ YAMAHA

陸に、水に、雪に、楽しいスポーツレジャーを生み、精力的に働くヤマハ、YAMAHA—みなさまがおなじみの、あるいは初めてのヤマハをここにご紹介します。お客さまとのお話のネタとしてどうぞご利用ください。

## GP-292B

単気筒 292cc  
27PS/6000rpm



## GP-433B

並列2気筒 433cc  
38PS/6000rpm



## S-300R

単気筒 292cc  
20PS/5500rpm



## S-440 (運輸省認定車)

並列2気筒 433cc  
28PS/5500rpm



## S-300B (運輸省認定車)

単気筒 292cc 18PS/6000rpm  
登坂能力20°



## S-300DX (運輸省認定車)

単気筒 292cc 20PS/5500rpm  
登坂能力20°



## S-350C (運輸省認定車)

並列2気筒 338cc 20PS/5000rpm  
登坂能力20°



## S-350DX (運輸省認定車)

並列2気筒 338cc  
25PS/5500rpm  
登坂能力20°



# お客様のSL(スポーツレジャー)ところをとらせる—— ヤマハオリジナルのツーリング用品をどーぞ!

春のシーズンにそなえて、まったくユニークなツーリング用品をおとどけします。

それは——、ヤマハオリジナルの機能性あふれたツーリングバッグとヘルメット風防です。いずれも若いお客さまにはぴったりのナ

ウな用品です。

暦のうえではもう春。オートバイ・シーズンの開幕の前に、これらヤマハならではのユニークな用品で、お店のイメージアップと売上げの増進をおはかりください。



## サドルバッグ

走行中はリヤシートにかけてサドルバッグに、また車を離れば手に下げたり、肩にかけたりと、便利さバツグンのレジャーバッグ。防水処理を施した、厚手のキャンバス地でじょうぶなことも最高です。色グリーン、サイズ大、小 価格、大¥2600、小¥2300。



## Rバッグ(Round Bag) Dバッグ(Duffel Bag)

円筒形で収容量の大きな手さげ用バッグ。ツーリングばかりか普通のバッグとしても最高。価格¥2300

Rバッグ同様のズック製、肩掛け用で携帯もらくらく。オートキャンプなどにはうってつけです。価格¥1500



## 高級ヘルメット風防(アメリカ製)

おなじみヤマハヘルメットのジェット型のものすべてに取付け可能なグッドデザインの風防。丈夫なツバと風防が一体となって、ライダーの顔を守り、つねにクリアな視界を保ちます。ロングツアーや高速走行には欠かせぬもの。天候や光線状況によって使い分けられるようクリアー、スモーク、ブルーの三色があります。価格はいずれも¥2000。